

ELECTRIC GRAND CP-80/CP-70B

世界のプロフェッショナルの熱い注目を集める、エレクトリックグランド。

グランドピアノアクションをそのまま採用した打弦式。タッチといい、サウンドといい、限りなくアコースティック。

音楽のジャンルを越え、世界のトップキーボーダーの称讃を欲しい。またエレクトリックグランド、73鍵タイプのCP-70B、そして88鍵タイプのCP-80、まさにグランドピアノそのものの音質とキータッチ。エレビならではのサウンドリレーション、移動のし易さ、充分な音量。仕上げるにはコンパクトながら、スタジオでもライブでも、トップキーボーダーの期待を裏切らない眼を見はる、パフォーマンス。あなた自身の指さきて、ぜひお確かめください。

●打弦式の音源とグランドピアノアクション
CP-70B、CP-80の音源は弦をハンマーでたたき、打弦式、グランドピアノと全く同じ仕組みのアクション機構を採用しているため、グランドピアノそのもののキータッチ、タッチレスポンス、キータッチを最大に活かす自然な音の強弱——指さきに感じる微妙なキータッチの重さも、少しも損なわれていません。キータッチはピアノと人の接点。タッチのちがいは、まさに演奏を左右します。



●音源もグランドピアノそのもの

エレクトリックグランドのボディ構造は、グランドピアノとはほぼ同じ。そしてグランドピアノと最も異なる点は、生ピアノをマイクで集音した場合に起こりかねる、ハウリングを遠ざけたこと。さらに、原音の徹底追求から誕生したヤマハ独自のピックアップが、弦の1本1本に対応して、澄みきった最高音から、重厚にしてクリアな最低音に到るまで完璧なボリュームバランスを誇ります。しかしなんと、打弦式を採用したことによる最大のメリットは、アコースティックな音色。立ち上がりから、減衰し、消滅するまでの倍音構成・音量変化は、これがエレクトリックピアノかと思ふほど、ダイナミックレンジの広さが魅力です。



●エレビだから、エフェクトのかわりは抜群

エレクトリックグランドはボリュームコントロールをはじめベース、ミドル、トレブルのトーンコントロールを採用しています。たとえば、トレブルを低目にセッ、ベースを上げればシャープピアノ風の鋭いサウンドをつくれます。逆にベースを上げてトレブルを上げれば、クラシカルで華やかなサウンドが誕生します。お好みのサウンドにセッしてください。CP-80には使用アンプの音質を、曲に合わせて高音レベルを同時に切り換えることができるプリアンプレベルSWを装備しています。また、トレモロの速さ、深さを自由にコントロールできるステレオ方式のトレモロユニットや、エフェクターを接続できるパッチング端子も装備。左右に微妙に揺れ動くドラマチックなトレモロ、ワウワウ、フェイズシフトサウンドなど新しいサウンドをつくり、演奏時の音場コンディションに合わせてエフェクトは思いのまま。エレクトリックピアノならではの数々のサウンド効果が得られます。

●ライブとレコーディングの使い分け

アウトプットはCH1、CH2のステレオ。それぞれにフォーンジャック、キヤノコネクターが設けられています。PAにラインで送る場合などはキヤノコネクター側を利用できる、便利なシステムでアンプ、スピーカーはエレクトリックグランドならではのタッチレスポンスを最大に生かすため、ダイナミックレンジの広い機種を選んで使えば効果的です。CP-80、CP-70B用として最適な、ヤマハのパワーアンプ内蔵のPAスピーカー(A4115H)などをお勧めします。



●キャリアブルタイプです

本体は鍵盤部分とフレーム部分、上下にセパレート。つまり、アクション部を2分し付属品といっしょに、ふたつのケースに納めるといった画期的な構造をしています。これで、演奏旅行に伴う移運の問題も、らくらく解決。あくまでプレイヤビリティを重視した設計です。

●定期的な調律をお勧めします

エレクトリックグランドはピアノ本来の音色とタッチを実現するため、アコースティック同様ピアノ弦をハンマーでたたき、音源方式をとっています。つねに最良のコンディションを保つため、定期的な調律をお勧めします。

●電源部

メインテナンスの点、また万一のトラブルに備えて、電源部はボタンの外に出されました。

